

町の考えを問う

一般質問の要旨

議長を含む11議員全員が登壇

3月定例会の一般質問は、3月5日、6日の両日行い、町側と町教育委員会の町政に対する考えを質（ただ）しました。初めて議長も質問し、11人の議員全員が登壇しました。このページは、質問通告した全項目を、議員の質問順に掲載しました。各議員のページには、質問内容と答弁の要旨を載せています。

1. 小池 勇 議員

- 公共施設等総合管理計画の「具体的計画」策定について

2. 川合弘人 議員

- 県の森林税、国の森林環境税をどう活用するのか
- 富士見町と小淵沢を結ぶデマンドバスを開設できないか
- 捕獲したニホンジカの最終処分は適切に行っているか
- 給食食材の放射能測定を継続してきた成果は

3. 織田昭雄 議員

- 公共施設再編計画について
- 観光強化について
- 町中心市街地に集まるカラスへの対策について

4. 名取久仁春 議員

- 県教委からの指針及び方針について

5. 小林市子 議員

- 地域公共交通の検証と見直しについて
- 地域の人口減少と富士見町の「まち・ひと・しごと」環境について

6. 三井新成 議員

- 重点施策の取り組みと予算について
- 人口減少対策の取り組みについて
- 諏訪南リサイクルセンター移設について
- 設備投資固定資産税ゼロについて
- 鳥獣対策（カラス）について

7. 矢島 尚 議員

- 始発電車の発車駅改善はできないか
- 富士見中学校電車通学の現状は
- 庁内プロジェクト体制、内容を明確に
- PR大使の進捗状況は

8. 名取武一 議員

- 子どもの医療費の自己負担について
- 健康長寿日本一を目指して
- 来年度保育料について
- 産業支援の強化について

9. 五味高幸 議員

- ユニバーサルツーリズムの取り組みに対する対応は
- ふるさと納税の返礼品について
- 組織横断的プロジェクトチームの状況は

10. 加々見保樹 議員

- 平成30年度当初予算について
- 新規事業「シティ・プロモーション事業」について
- マイナンバーカードの普及について
- 行政運営について

11. 五味平一 議員

- 町長の重点施策である落合保育園改修工事について
- 地域の個性ある発展と地域コミュニティについて
- 保育園と地域について

※質問順は、議会運営委員会の中で、委員によるくじ引きで決めています。

※議長だけは、くじ引きを行わず、質問順は最後としました。

※一般質問の要旨は、各議員がそれぞれ自分のページを編集しています。



小池 勇

**総合管理計画に「個別計画を」
30年度から3年かけて策定**

質問 昨年、「富士見町公共施設等総合管理計画」が総務省の指示で策定された。建物系施設（庁舎、学校、公営住宅など）と、インフラ施設（道路、橋梁、上下水道など）を公共施設等と定義し、現状を維持する前提で、40年間にどれだけのお金が必要になるかを試算したものだ。これによれば、合計で1065億円、年平均26.5億円が必要になると推計されている。現状、一般会計予算80億円以下、特別会計と上下水道の企業会計を含めても総予算120億円に満たない。40年後町の人口は3分の2となる1万人を切ると推定されている（社人研）。税金は大きく減少し、交付税にも期待できない中で、直ちに対策を取らなければ町の存亡にかかわると思われる。大至急、個別計画を策定すべきだが、基本になる人口動向をどう考えるか。

町長 町には平成28年に策定した「人口ビジョン」があり、人口維持を目指している。こうした努力は重要で、当面維持する。ただ、今後策定する「個別計画」では現実面から、直近の実績数値を踏まえ、「社人研」の数値を参考にしていく。

質問 公共施設の更新に使えるお金はどの程度か。

町長 現時点では明確にできない。緊急性、重要度等で優先度を判断する。交付税措置のある起債や補助の有無も考慮する。すべてを一般財源で賄う訳ではない。

質問 「個別計画」の予定は。

町長 平成30年度から3年かけて順次策定する。人口減の進行、施設老朽化の程度から総量を検討する。公共サービスの在り方についても検討が必要だ。町民に対して丁寧に説明する。

質問 取り組む速度が遅すぎないか。

町長 速度は大切だが町民生活に大きく影響することから、慎重に取り組む必要がある。1年かけて庁内方向をまとめ、2年目に町民の意見を聞いた上で、原案を作る。3年目にパブリックコメントを実施し、住民懇談会等での質疑を通して具体的な計画とする。

質問 「町総合計画」との整合性は。

町長 「総合管理計画」は長期の基本方針。「個別計画」は10年間の中期計画で、第6次総合計画が終了する平成42年度に足並みをそろえる。



川合 弘人

**小淵沢を結ぶデマンドバス開設を
今後、積極的に取り組む**

質問 県境を越えて、富士見町と北杜市小淵沢を結ぶデマンドバスを開設してはどうか。

町長 北杜市では現在、地域交通網の形成計画を策定中だ。北杜市のワークショップでも、富士見町と小淵沢を結ぶバスが必要だという声は大きい。今後、具体的な検討が進められていくことになる。八ヶ岳観光圏、定住自立圏の会合に行くと、このことはいつも話題になる。今後、積極的に取り組んでいきたい。

質問 鉢巻周遊リゾートバスをどう評価するか。増便の考えは。

町長 確実に乗客数は増えている。増便は、様々な要素を勘案して検討すべきだと考える。利用実績を踏まえ



JR富士見駅前乗客を乗せるデマンド交通「すずらん号」

て3市町村、観光業者と相談したい。

■学校給食食材の放射能測定

質問 測定開始から3年半が経過したが、基準値を超えた食材はあったのか。集積したデータの分析は。

教育長 平成26年度から27年度に2回、29年度に1回の計3回、町が設定した基準10ベクレルを超えた食材があった。調理前だったので、産地、メニューを変更した。3年目に測定結果、傾向を分析して、測定品目を絞り込んだ。影響が見られない西日本産の食材は回数を減らし、一部の加工品は測定から除外した。日常的に使われる食材は毎週でなくて定期的に検査をする見直しをした。結果は学校の栄養士に伝え、食材の産地指定、給食の献立作成に活かすようにしている。

質問 今後も継続実施する方針か。

教育長 測定は最低5年という確認事項だったが、給食の安全提供は教育委員会の責務であるため、予算措置も含め、今後も継続実施したい。教育委員会としてこの活動を支えるべく、人員確保にも努めたい。



織田 昭雄

町中心部のカラス対策を

緊急対策で機器を購入し対応

質問 増えているカラスの現状を把握しているか。

町長 一般生活環境へのカラス被害は富士見区が初めてだ。私も何日か様子を見に行ったが、たいへんなことだと認識した。先進地を参考に、緊急対策として機器を購入して対応する。根本的対策は先進地や専門家から意見を聞き、現場に応じた対応をする。

質問 緊急対策用の機器の運用方法は。



木に群がるカラス

産業課長 機器を導入して、使用方法や安全対策をしっかりと住民の皆さんと共に、最初は町が主導してやる。

機器を貸与し地域の皆さんも任を負っていたり、仕組み作りが必要だ。地域の皆さんの協力をいただき、対応したい。

■公共施設再編について

質問 再編計画の基本方針は。

町長 実態の把握をして、将来的に掛かる維持管理費や施設の更新費用を試算し、更新時期の集中を回避し、財政負担の軽減と平準化を図る。将来人口や年齢構成の変化によって総量や運営を再検討し、既存の公共施設ごとに長寿命化、統廃合、更新等の方針を定める。

質問 どのように進めていくのか。

具体的計画は。

町長 初年度は庁内で検討委員会を立ち上げ、公共施設のあり方の方針案を策定。2年目で方針案を町民の皆さんに説明し、意見を求め、3年目に計画案のパブリックコメントや住民懇談会を経て成案にしていく。詳細はコンサルタント委託して、相談しながら計画を詰める。



名取 久仁春

教職員の勤務時間短縮は

中学校で約11時間の短縮

質問 県教委が指針で示した中学校の朝練自粛への対応は。

教育長 適正に取り組んでいる。富士見中は放課後の活動時間が確保できないため、月曜日を除いて朝練を実施している。水曜日は放課後の活動も自粛している。朝練は生活リズムの面からも良いのではないかと感じていた。

質問 県教委の働き方改革推進の基本方針に対する対応について、まず会議の精選と効率化、および出張件数の削減は。

教育長 職員会、学年会の開催を隔週にし、委員会や係会など会議・出張の回数を極力減らして時間短縮に努めている。ただ、配慮を要する児童、生徒、その保護者への個別支援や相談、連絡調整会議の時間は増えており、富士見町では個別支援の職員を手厚く配置していただいているが、さらなる増員が必要となっており、さらなる増員が必要となっている。

質問 部活動の専門スタッフ登用の考えは。

教育長 県教委でも県予算に盛り込んでいる事は承知しているが、町としての財源の確保が難しいという、専

門スタッフに教育的な意味や学校方針を理解していただく大変さもある。緊急対応は難しいが、前向きに検討する。

質問 勤務時間把握の現状は。

教育長 昨年の12月の一人あたりの時間外勤務時間平均は、中学校が約11時間、小学校が約3時間の削減を達成した。緊急対応には昼食時を活用したり、準備の時間を削減したりするため、ペーパーレスに取り組み一方で、意識改革の大切さも実感している。

質問 勤務時間適正把握に、民間が導入している入退社管理システムに加えて、体温管理も加えた独自のシステムも検討しては。

教育長 今後の検討課題として、ご提案も視野に入れていく。



小林 市子

公共交通網の見直しは

答 「我が事・丸ごと」を推進

質問 利用者一人310円の料金と町の補助金で、公共交通の利便性は町民の利用実態と合致しているか。デマンド運行に関して、幅広い見直しは。

町長 デマンド運行に関しては、昨年より町の全域をカバーする運行と、運転免許証返納高齢者が増え、利用者は増加傾向だが、交通弱者対策は喫緊の課題だ。福祉支援体制では、平成28年10月から町の社協へ委託をしている通称「くらサポ」のサービスで、買い物などの支援利用会員と支援をしていただく協力会員をつなぐ事業が進んでいる。町内の二つの社会福祉法人が病院の送迎など移送サービスを担っている。シニアカーの認知度や利用希望の調査では、認知度は7割弱。ぜひ乗りたい、あれば乗りたい希望者は、約3割弱。「我が事・丸ごと」地域づくり事業での推進と機運の高まりを期待。地域の支え合いの中から富士見町にあった運行形態を考える対策を検討していく。

00万円、それに交付税算定で一定の予算計上もあり、中期的には賄える状況だ。

■町の将来像と人口対策は

質問 高齢者や障がいのある人たちだけでなく、誰にも優しいユニバーサル環境づくりと関係人口、交流人口による二拠点地域づくりの考え方は。

町長 ユニバーサルツーリズムに関しては、富士見高原リゾートが進んだ取り組みをしているので、ただ任せるのではなく、ユニバーサルフィールド環境へ支援をし、町としても努力をしていく。具体的には、ステイ・プロモーション事業を新年度から着手したい。町民の皆さんの力をいただきながら、地域の魅力を掘り起こし、掘り起こした魅力を外に発信して、町の認知度を高める。それが関係人口や交流人口を増やし、第二の故郷として移住定住につながる様な可能性を探りたい。町民の皆さんの気づきによる地域の魅力づくりを掘り起こすプロモーション事業として進めていく。



三井 新成

重点施策の中身、最終目標は

答 「住みたい、住み続けたい町」に

質問 産業振興の具体策、方法、期間、予算をどう考えているか。

町長 産業振興策の具体策として商工業用地の土地利用の調査見直しに975万円を使って町域全体の土地利用を見直し、均衡のとれた国土利用計画の見直しに着手する。都市地域の都市計画マスタープラン、立地適正化計画及び、農村地帯の農業振興地域整備計画の見直しに着手していく。これにより町内企業の規模拡大や新たな企業誘致の用地確保に取り組み、商工業振興の基盤を整えていく。人材確保策として町が持っているハローワーク機能を強化して商工業の強靱化を図っていく。農業振興については新規就農者の育成、ワイン、カシスの特産化、有害鳥獣対策等を継続し、新たにカゴメ野菜生産ファームへの観光施設の整備支援を行う。その他、新たに水田の畑地化を目的とした県営基盤整備調査事業も進める。農業での経済効果、雇用効果、税効果を創出する強い農業を目指す。観光振興では、町内の2大観光地と広域連携を核として山岳高原ならではの魅力を発信して観光客の増加を目指していく。

質問 医療、健康、福祉の充実の具体策をどう考えているか。

町長 地域で包括支援体制を整え、切れ目ないサービスを提供していく。

質問 健全財政の堅持、安全安心な町づくりを考えているか。

町長 ハード整備に相当な予算が必要となってくる。コンパクトシティ化を緩やかに進めるための検討も必要と考えている。

質問 4年後の町づくりはどう変わっていると考えているか。

町長 総合計画の策定において、広く町民の意見を吸い上げて計画に盛り込んでいく。まちづくりを展開する上でステイ・プロモーション事業に着手し町の認知度を上げる。「住んでみたい、住み続けたい町」に最終するように、事業の組み立てを考えていく。



矢島 尚

答 庁内、新プロジェクトの取り組みは成果が出てきたと感じている

質問 町長就任後、新しく各課横断的な組織をつくり、現行施策や業務改善に取り組み始めているが、その内容は。

町長 プロジェクト（P）は八つ。既に動き出しているプロジェクトは四つあり、水資源P、防災P、公営住宅検討P。もう一つは、基金運用P。基金運用Pは会計室、財務課、総務課、上下水道課の職員9人で構成。事務作業の簡素化と新たな運用方法を検討し、証券会社の社員を交えての勉強会も実施。結果、一般会計、特別会計の19の基金、計33億円を新年度から集約し、金利の高い債券に投資して増収につなげる。職員が前向きに取り組み、短期間でいい成果が出てきたと感じている。今後想定するPは、土地の活用P、ふるさと納税P、地方創生まちづくりP、不当要求行為への対応Pを計画している。

る要望をJRへ出せないか。
町長 要望に対して物理的には可能だが、乗客数とコストが課題で、ハードルはかなり高く難しい。

■中学生の乗車定期券購入代行を

質問 電車通学している中学生の定期券購入代行を町ができないか。事務処理上も簡素化できると思うが、**教育長** 現物給付は難しい状況だが、今後検討していく。



検討されたカード「Suica」

■PR大使の進捗状況は

質問 昨年9月議会で、世界で活躍する町出身者を町の観光PR大使に検討する、と答弁された。その後は、**町長** 新年度に着手するシティ・プロモーション事業の中で研究する。



名取 武一

答 子育て・福祉の充実を念頭に子どもの医療費負担3000円維持を

質問 12月議会では「富士見町医療費特別給付金条例の一部を改正する条例」が可決され、子どもの医療費無償の対象を15歳から18歳まで拡充されることになったが、施行規則改正で自己負担分を今までの3000円から5000円に引き上げるとしている。その後日本共産党富士見町委員

負担額を3000円から5000円への変更を考えた。しかし福祉医療費の対象は子どもだけでなく、障害者等でもあり、子育て支援・福祉の充実を念頭に自己負担3000円を維持することにした。

■健康長寿日本一を目指して

会は、これは町の重点施策である「子育て支援の充実」に逆行するものだと引き上げ撤回の要望書を町長に提出した。

質問 ある雑誌への町職員の投稿に「健康長寿日本一」を目指すところが、今、富士見町はどの位置にあり、課題をどう考えているのか。

しかし1月15日付「広報ふじみお知らせ版」には「4月1日より福祉医療費支給が18歳までになります」というチラシに「8月1日から」「受給者負担金が1レセプトにつき3000円から5000円になります」とあった。その後も引き上げ撤回を求めていたところ、2月20日、町長は引き上げを撤回し、自己負担3000円を維持すると表明され、その理由に認識不足があったとした。認識不足の内容は。

町長 担当者の意気込みを評価したい。富士見町の健康寿命は男女ともに長野県・全国と比較しても高い水準にある。各種健康診断の推進や地域福祉の充実、高齢者が生き生きと暮らすための活動の支援、新たな介護予防事業の取り組みなど来年度予算に反映させている。「我が事・丸ごと」地域づくり推進事業が新たな取り組みだ。



五味 高幸

**答 町全体でフィールドづくり
ユニバーサルツーリズム推進は**

質問 ユニバーサルツーリズムに対する町長の考えは。町の取り組み状況は。富士見高原とパノラマリゾートを含めた観光の先進地として、これを推進する考えは。

町長 県全体に広がりを見せている。高齢者も、介護する人も、介護される人も一緒に楽しめるフィールドづくりは有意義であり、町も支援する。PRに取り組み、推進している。パノラマリゾートでも今後取り組みたい課題だ。その姿勢は持っているが、安全性を確保するための整備費を含め、問題も多く、簡単ではない。



■ふるさと納税の返礼品に感謝券は
質問 返礼品に地域の特産品は意義も多いが、送って終わりになるのでは。感謝券は地域に来て、地域内で消費するため、プラスアルファの効果も望め、更に交流人口、関係人口の増などから移住定住にもつながるのでは。

町長 総務省の指導もあるが、選択肢として排除せず検討したい。庁内横断的プロジェクトチームにより、多様な仕組みについて研究し、今後新たな返礼品の開発も含め、魅力ある事業へ進化させたい。

■組織横断プロジェクトチームは

質問 プロジェクトチームは既に8チームが、編成または予定があり、既に動いているチームもあると伺うが、編成方針と、重点課題として挙げれば。

町長 業務的の制度も期待するが、職員の育成を主目的として力を入れたい。情報の共有が課を超えたメンバーで持っているのもメリットだ。ミッションに応じて臨機応変にメンバー、リーダーを構成したい。重点課題としては土地の活用、水資源の活用、ふるさと納税などがある。

総務課長

役場職員以外も、課題によりメンバーに加えている。重要なのは各メンバーが所属する課長の理解であり、構成する人員の概要については、特に定めることなく、必要に応じて対応したい。



加々見 保樹

**答 町の魅力、宝を発掘し発信
シティ・プロモーションの概要は**

質問 シティ・プロモーションは、外部コンサルタントに委託するのは。委託の場合、選定基準は。

町長 委託を想定している。第三者としての外部からの視点を持ちながら地域とのかかわりを大切にされる者。大手ではなく町の独自性を出せるコンサルタントを選定したい。

質問 住民参加が必須と考えるが、どのようにして参画してもらうか。

町長 必要に応じて公募するが、先ずは関係機関、団体等でスタートし徐々に参画者を増やしていく。コンサルのアイデアを参考に町内の人材の掘り起こしにもつなげたい。

質問 事業効果をいかに計測するか。

総務課長 3年後の実績、SNSのフォロワーを今より3000件増やす。「森のオフィス」コワーキングスペース登録者を更に200名増やす。移住者を10世帯増やす。

■マイナンバーカードの普及について

質問 町民、町職員の普及率は。

町長 町民9.1% 町職員10%。

質問 普及が進まない原因は。

町長 カードを活用したサービスがほかの手段でも対応できる状態であ

り、カード発行のメリットがあまり感じられないからだと思う。

質問 昨年から開始された、クレジット会社・航空会社を利用し、貯まったポイント・マイルを自治体ポイントに交換でき、また地域ボランティア活動に参加するとポイントがカードに付与される。それらのポイントをオンラインで使うことができる「自治体ポイント」制度を活用することを検討しているか。

町長 実施のためのシステム開発が必要であること、電子決済・クレジット決済可能な店舗が地元には少ないことがネックで、検討していない。

■平成30年度当初予算について

質問 新体制後、初の予算編成であるが特色は。

町長 基本は今までの継続であるが、横断的プロジェクトチームの立ち上げ、シティ・プロモーション事業など公約実現に向けて盛り込んである。

質問 住民懇談会で出された要望を予算化した事業はあるか。

町長 お産、健診、授乳に対する要望に応えるために、産後ケア事業に着手する予算を盛り込んだ。



五味 平一

すべての園児に平等な施設を

答 4地区に教育の拠点が必要

質問 町長の重点施策である落合保育園の改修工事について、工事費1776万2千円は、どの程度の工事か。また、見積もり種別ごとの金額は。

教育長 傷みの激しい断熱材使用の床工事・建具の取り替え・網戸の設置等だ。種別については、詳細設計を行った後の見積もりで分かる。現時点では概算金額での予算だ。

質問 地元では新築を求めているが、今回の改修工事は一時的な手当てなのか。

教育長 新築を求めていることは認識している。その前に、落合保育園を残していきたい。教育委員会としても存続する方向で議論を行っているし、説明会も開催している。そこで居住性・安全性の確保のための工事であるので理解を願いたい。

質問 保育園の在り方の議論・巨額の費用の投入は。

教育長 この工事の費用は最低限のものだ。今の落合保育園には必要な工事であり、保育園の在り方を決めるには時間が掛かる。現状のままでは保育を続けるのは、園児にとって好ましくないと判断した。



改修工事を行う落合保育園の園舎

質問 富士見町に4地区あるが、4地区に保育園が必要と考えるか。

町長 必要と考えるし、5保育園体制を維持する。

教育長 5保育園体制は、子どもの今後の推移を見ながら考えていくが、富士見町には、4地区に教育の拠点が必要だと思っている。

質問 保育園の新築は後期の総合計画に入るのか。

町長 住民の声を聞きながら考え、判断していく。

一部事務組合の活動報告

諏訪広域連合議会

(参加議員：五味平一、小池勇)

浜松市を行政視察

2月7日、8日の両日、静岡県浜松市の行政視察を行いました。目的は、浜名湖サイクリングロードと「ものづくり王国」の調査研究です。

①浜名湖サイクリングロード

浜松市は浜名湖周辺の他自治体とともに「浜名湖観光圏整備推進事業」に取り組んでいます。富士見町の「八ヶ岳観光圏」と同じ位置付けです。「浜名湖サイクルツーリズム推進協議会」が中心となり、コースの設定・維持・管理・看板設置・休憩所・修理する場所の選定や、マッ

プ作りをしています。

②やらまいか「ものづくり王国」

浜松市は日本でも有数の各種製造業の集積地として知られ、商工会議所を中心に、地域ブランド「やらまいか」に取り組んでいます。

介護保険料を細分化

2月16日には、平成30～32年度を対象とする「第7期介護保険事業計画」の説明会がありました。改正のポイントは、国の制度改正と県の医療計画との整合性を取ることです。保険料は、従来の9段階を14段階に細分化することで負担能力に応じた賦課を行います。激変緩和のために基金を取り崩して繰り入れるが、来期以降は難しいとのことでした。

諏訪広域公立大学事務組合

(参加議員：五味平一、小池勇)

研究スペース増設

2月13日に全員協議会を開き、中

期計画(素案)の説明がありました。各種目標達成のため数値目標を設定し管理していく、という説明でした。施設整備計画では、新入生が4年生になるまでに不足する研究スペースを現敷地内に増設します。事業費は12億4000万円を予定。入試状況は「進行中だが、非常に良好」とのことでした。

視察研修

議会広報編集委員会

- ① 視察日…2月1日
- ② 訪問地…宮城県利府町
- ③ 参加議員…川合弘人(委員長)、矢島尚(副)、小池勇、五味高幸

編集の基本方針は、①審議の結果だけでなく、審議経過を分かりやすく、正確に住民に伝える②議会を傍聴しない住民にも、傍聴した時と同程度の情報を提供する③議会活動を正しく住民に理解してもらう—などを挙げています。

レイアウトは、文章スペースを40%に抑え、見出しと写真で40%、残り20%は余白です。「余白は無駄でない」という編集方針です。

審議経過を分かりやすく

「お役所言葉」はできるだけ日常語に置き換え、文体は統一しています。

主な質疑は次の通りです。

質問 誌面改革に力を入れたきっかけは。

回答 「議員の顔が見えない」という住民の声があった。議会の仕事は住民に知られていないと感じた。

質問 印刷業者への原稿の納入方法は。

回答 ワードとエクセル。ラフ

デッサンで希望のレイアウトを伝えている。

質問 富士見町の議会日よりアドバイスを。

回答 一般質問は1人1ページ化が望ましい。委員会の審議経過は必要だ。



利府町の議会広報常任委員会から話を聞く
富士見町議会の議会広報編集委員会(左)

議会広報編集委員会は、議会をたより編集のスキルアップを目指して、利府町を訪問。町議会の議会広報常任委員会から、編集方法などを学びました。同町議会は平成29年度の町村議会広報全国コンクールで最優秀賞を受賞したほか、同26年から優良賞を連続3回受賞しています。

所管事務調査

総務経済常任委員会

- ① 視察日…1月16日、17日
- ② 訪問地…山梨県都留市、神奈川県横須賀市、千葉県鋸南町
- ③ 参加議員…名取久仁春(委員長)、矢島尚(副)、五味高幸、三井新成、加々見保樹



鋸南町の鳥獣被害対策を聞く富士見町議会総務経済常任委員会

鋸南町は、有害鳥獣による農作物被害が平成28年度

は3400万円。ここ数年は増加傾向です。イノシシは電車への衝突事故や稲の踏み倒し、鹿はニホンスイセンの被害も発生しています。

有害鳥獣被害対策実施隊(27人)を編成し、銃器、箱わななどで捕獲。有害鳥獣対策協議会(86人)に委託し、捕獲、侵入防止柵の設置などに取り組んでいます。課題は駆除員の高齢化で平均年齢は65歳。

捕獲個体の処理は、山間部にコルゲート管を埋設し、省力化

と掘り起こし防止を図っています。捕獲時にバッテリーで瞬時に苦しみなく処理する機器も導入しました。

逆転の発想で、観光資源、地域活性化の取り組みも始めました。ジビエ料理ワークショップ、被害対策ワークショップなどで、参加者は女性が多く、子どもも少なくないということです。ほかに2例を紹介します。

①けもの道トレッキングⅡ定員30人に約200人の申し込み。里山保全の取り組みや、狩猟・わな猟の現場を巡る企画です。

②解体ワークショップⅡ定員20人に113人の申し込み。猟師による解体技術の説明と解体実習を通じて、命の大切さを学ぶ企画です。

総務経済常任委員会は、都留市の県立リニア見学センター、横須賀市の停泊艦船を見学し、鋸南町では有害鳥獣対策の状況を学びました。

解体実習で命の大切さ学ぶ

全員協議会での町関係協議事項・報告事項【1月~3月】

◆1月19日

- ①第5次富士見町総合計画後期基本計画見直し(植松副町長、小林総務課企画係長)
- ②国土利用計画見直しのスケジュール(伊藤総務課長)
- ③おっと亭改修工事の概要(和田産業課長)
- ④国民健康保険制度改正の概要(名取国保年金係長)

◆2月20日

- ①平成30年度一般会計・特別会計予算案の概要(名取町長、金井財務課長)
- ②地方創生推進交付金事業(植松副町長)
- ③町議会3月定例会への提出議案の概要(植松副町長)
- ④富士見町森林整備計画の概要(和田産業課長、春山農林保全係長)
- ⑤長野県住宅宿泊事業の適正な実施に関する条例案について(和田産業課長)
- ⑥「中小企業の投資を後押しする大胆な固定資産税の特例」の創設(同)
- ⑦庁内機構改革、係名の変更(伊藤総務課長)

※()内は説明者

- ⑧「暮らしの便利帳」の作成協力(同)
- ⑨損害賠償事故の報告(同)

◆3月13日

- ①町議会3月定例会最終日の追加議案2件(名取町長、伊藤総務課長)
- ②国民健康保険料の算定方式(名取国保年金係長)
- ③第2次富士見町健康づくり計画「健康ふじみ21」中間評価報告書(尾沼保健予防係長)
- ④第2次食育推進計画の策定(同)
- ⑤第2期保健事業計画「データヘルス計画」の策定(同)
- ⑥第4期高齢者福祉計画の策定(同)
- ⑦第5期障害福祉計画「第1期障害児福祉計画」(同)
- ⑧スズランVパートナーシップふじみ(五味男女共同参画係長)
- ⑨一般会計・特別会計基金の一括運用(小池会計管理者兼室長)